



カブ

ご使用前に必ず説明書をご覧ください。

05-05-0034

DタイプLCDスピード&タコメーター

C1ステー付きキット

適合車種	フレームNo.
リトルカブ	C50-4300001～ AA01-3000001～
リトルカブFI	AA01-4000001～
スーパーカブ50/70/90 (カスタム除く12V車)	C50-0200001～ AA01-1000001～
取付可能車種	
スーパーカブ 50FI※	AA01-1700001～

※ スーパーカブ 50FIは、取り付けに配線加工が必要です（配線加工図添付）。

またブルーインジケーターを使用する事が出来ません。

FI車はヘッドライトがマイナス電圧（マイナス半波整流で約-24V）で点灯している為、

ハイビームインジケーターとして流用する事も不可能です。

DLCD ST1 KIT

D-TYPE LCD SPEED & TACHO

instruction manual

① まえがき

② ご使用上の注意点

③ キット内容

④ メーター本体の取り付け

⑤ 配線接続

⑤-1 配線概要

⑤-2 配線図一覧

⑥ 操作方法

⑥-1 表示と機能の一覧

⑥-2 操作方法

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

① まえがき

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。

ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいます様お願い申し上げます。

取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

○取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

○本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。

○この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

○他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

○商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

○性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

○クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させていただきますが、工賃その他費用は対象となりません。

○この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンやマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行ってください。（部品破損・ケガの原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）
- 気化したガソリンの滞留は危険性が有る為、通気の良い場所で作業を行ってください。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川  〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
 [TEL] 0721-25-1357(代) [FAX] 0721-24-5059
 [お問い合わせ専用ダイヤル] 0721-25-8857
 [URL] www.takegawa.co.jp

② ご使用上の注意点

次ページに続く

[ヘッドライトOFFでの走行禁止 / 保安部品を外したレース用車輛]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造（断線させるだけ）によりライトOFF状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて（光軸も調整して）下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。レース用車輛ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。



- H.I.D.キットには品質によりバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
- 社外品の点火装置及び、イグニッションコイルやプラグコード、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）は悪影響ノイズの増大により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。また、点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。
- 社外品の発電装置は充電力不足によるバッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

◎炎天下での放置にご注意下さい。

長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形の恐れがあります。

◎本製品は完全防水ではありません。

防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生可能性があります。

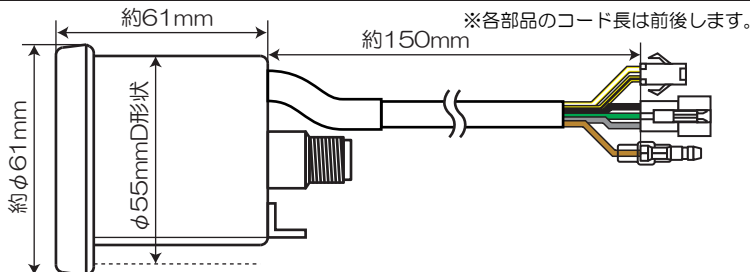
◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。

③ キット内容

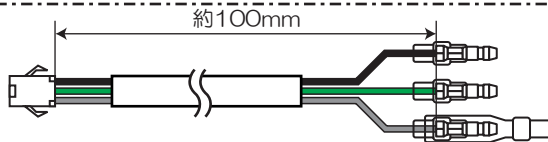
次ページに続く

①メーター本体



リペアパーツ品番
DLCD ST1キット（モンキー用）
05-05-0009（②・③・④をキットに含む）

②電源サブコード ギボシタイプ



関連ページ **⑤-2**

リペアパーツ品番
00-05-0068

③外部スイッチ

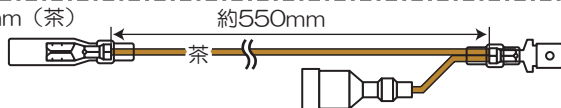


関連ページ **④**

関連ページ **⑤-2**

リペアパーツ品番
00-05-0070

④RPMコードB 550mm（茶）



関連ページ **⑤-2**

リペアパーツ品番
00-05-0072

⑤RPM延長コード

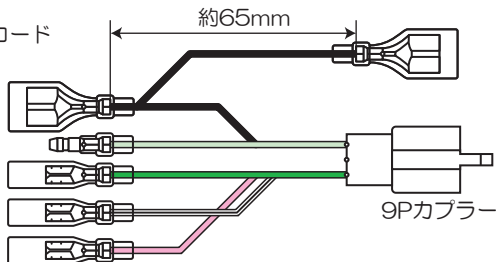


関連ページ **⑤-2**

リペアパーツ品番
00-05-0078

⑥リトルカプFI用
DLCDメーターサブコード

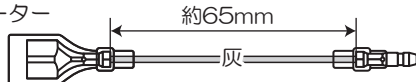
関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
00-05-0079

⑦ウインカーインジケータ
サブコード

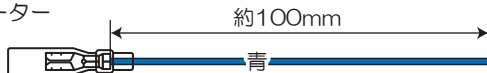
関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
00-05-0080

⑧ハイビームインジケータ
サブコード

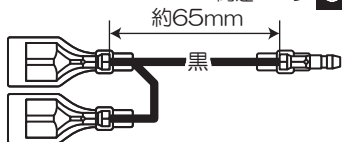
関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
00-05-0081

⑨分岐用サブコード黒

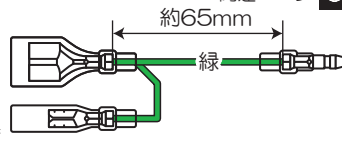
関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
00-05-0082

⑩分岐用サブコード緑

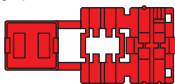
関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
37225-181-T00-T0

⑪エレクトロタップ

関連ページ ⑥-2



リペアパーツ品番
00-05-0015 (5個入)

⑫C1メーターステー

関連ページ ④



リペアパーツ品番
00-05-0083

⑬メーターフック

関連ページ ④



メーターに組み付けています。

リペアパーツ品番
00-05-0084

⑭グリーンLEDインジケータランプ

リペアパーツ品番 09-001-03

関連ページ ④

⑮ブルーLEDインジケータランプ

リペアパーツ品番 09-01-008B

関連ページ ⑥-2

⑯オレンジLEDインジケータランプ

リペアパーツ品番 09-01-0080



④ メーター本体の取り付け

ノーマルメーターの取り外しとLCDメーターの取り付け

・水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。

・ヘッドライト取り付けボルトを外し、ヘッドライトを取り外し、ワイヤーハーネスの結線を外します。

・プライヤーでケーブルロックナットを回し、スピードメーターケーブルの接続を外して下さい。

・メーターから接続されているギボシやカプラーをすべて抜いて下さい。

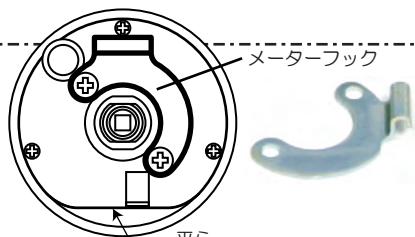
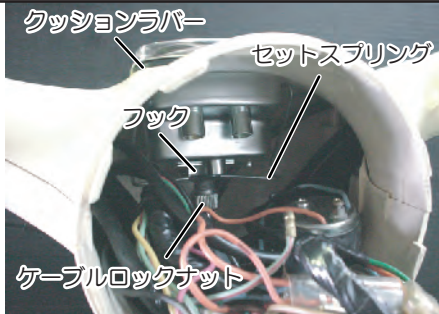
・フックからセットスプリングを外すとメーターを上方向に取り出すことが出来ます。

※セットスプリングと純正メーターに付いているクッションラバーは再利用します。

・⑫C1メーターステーに正面から見て、左から⑭グリーンLEDインジケータースターランプ、⑮ブルーLEDインジケータースターランプ、⑯オレンジLEDインジケータースターランプの順で組み付けて下さい。

・⑫C1メーターステーに①メーター本体と純正メーターに付いていたクッションラバーを取り付け、車両にセットします。

・純正メーターと同様にセットスプリングをメーターフックに引っ掛けて下さい。



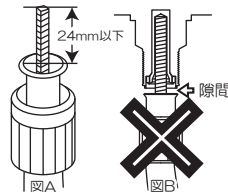
・ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込んだ事を確認してから、ケーブルロックナットを締めて下さい。

※プライヤーなどを使いしっかりと取り付けして下さい。
※取り付け後も緩みが無いか定期的に点検して下さい。

本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しております。外品や他車種のケーブルを流用する場合、以下の事に注意して下さい。

ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。

図Bのように底つきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識出来なくなってしまいます。



・ハンドルカバーの隙間に④外部スイッチのコードを通し、操作できる位置に貼り付けて下さい。

※コードの届く範囲を確認して下さい。

※少々の水濡れは問題ありませんが、雨水が直接当たらない場所に貼り付けて下さい。

[アドバイス]

オド台トリップの切り替えや、トリップのリセットでスイッチを使います。



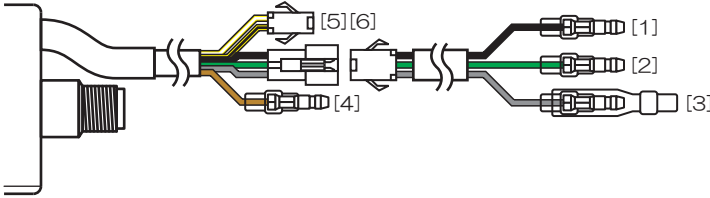
④外部スイッチ

約300mm



⑤-1~⑤-2の配線接続作業後、逆の手順で再組み付けして下さい。

⑤-1 配線概要 (C1ステー)



No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[1]	黒	電源 (DC12V)	[01]	Black	Power Input (DC12V/AC12V)
[2]	緑	メインアース (GND)	[02]	Green	Main GND
[3]	灰	フューエルセンサー入力 (リトルカブFIのみ対応)	[03]	Gray	Fuel Signal Input
[4]	茶	RPM信号入力 (パルス)	[04]	Brown	RPM Signal Input (Pulse)
[5]	黄/黒	外部スイッチ入力	[05]	Yellow/Black	Separate Switch
[6]	黄/白	外部スイッチ入力 (GND)	[06]	Yellow/White	Separate Switch(GND)

取り付けるモデルにより、配線図及び、一部の使用部品が異なります。
また、青LEDインジケータの機能もモデルで異なります。
下の適合表をご確認の上[⑤-2 配線図一覧]に進み、作業を行って下さい。

配線図	モデル	フレームNo.	エンジン	青LEDインジケータ機能
⑤-2A	リトルカブ (セル無し)	C50-4300001~ AA01-3000001~	キャブレター	ハイビーム
	スーパーカブ50スタンダード・デラックス (セル無し)	AA01-1000001~		
⑤-2B	リトルカブデラックス (セル付き)	C50-4500001~ AA01-3000001~	キャブレター	ギアチェンジ (4速)
⑤-2C	スーパーカブ50スタンダード・50/70/90デラックス	C50-0200001~	キャブレター	ハイビーム
⑤-2D	リトルカブ FI/リトルカブデラックス FI	AA01-4000001~	インジェクション	PGM-FI警告灯
⑤-2E	スーパーカブ FI スタンダード/デラックス	AA01-1700001~	インジェクション	使用しません※。

※FI車はヘッドライトがマイナス電圧 (マイナス半波整流で約-24V) で点灯している為、ハイビームインジケータとして使用する事が出来ません。

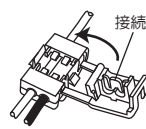
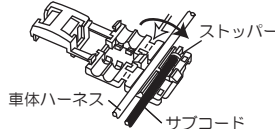
エレクトロタップ
の使用法

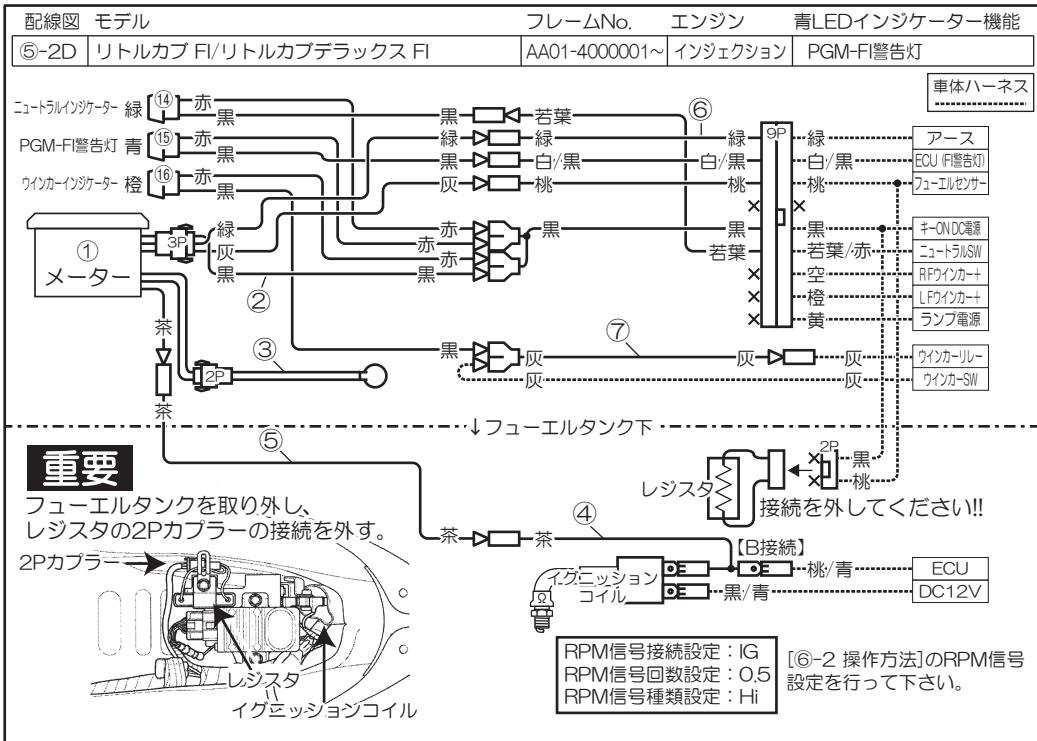
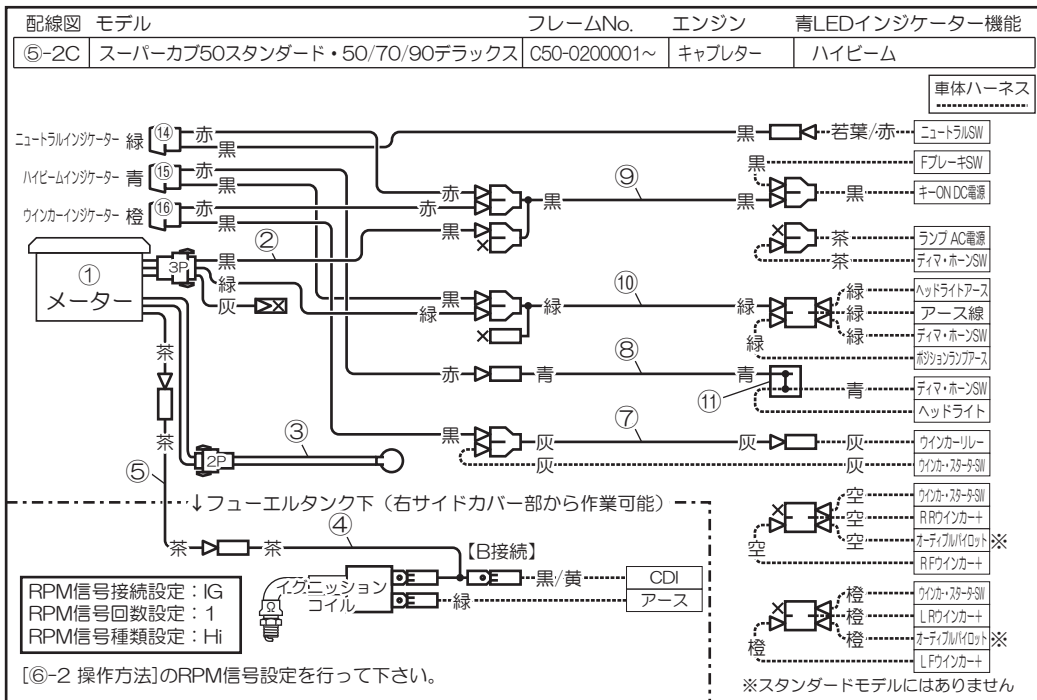
サブコードをしっかりとストッパーに当て[⇒]部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。



サブコードのターミナルを切り落として下さい。





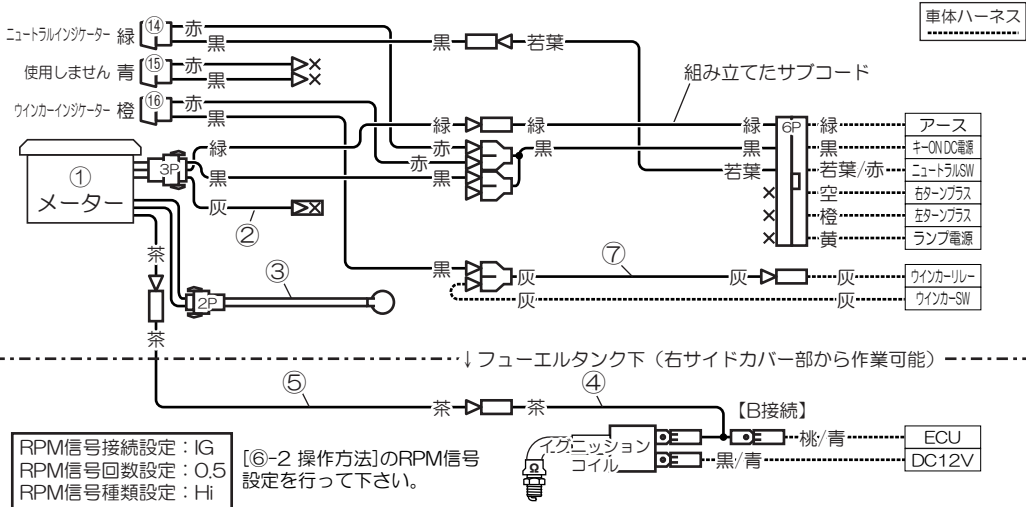
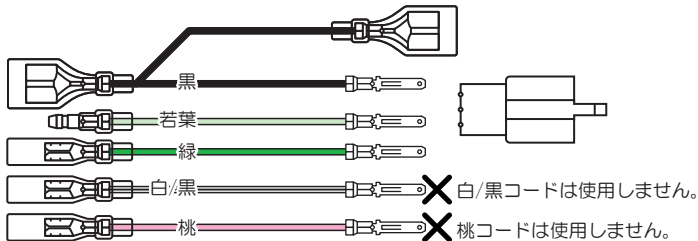
配線図	モデル	フレームNo.	エンジン	青LEDインジケータ機能
⑤-2E	スーパーカブ Fスタンダード/デラックス	AA01-1700001~	インジェクション	使用しません※。

※ブルーLEDインジケータをヘッドライトのハイビームインジケータとして使用する事は出来ません。
この車両のヘッドライトはマイナス電圧（マイナス半波整流で約-24V）で点灯している為です。

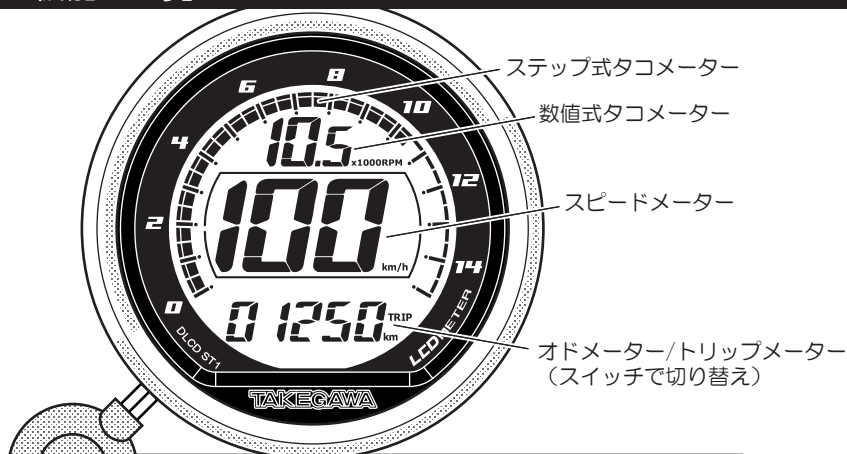
⑥リトルカブF用DLCDメーターサブコードから9Pカブラーを取り外し、純正メーターから取り外した6Pカブラーに差し替えて、スーパーカブF用サブコードを製作します。



小さいマイナスドライバー等でロック（爪）を折り込み、端子を引き抜いて下さい。
ロック 折り込んだロックを起こしてからカブラーに差し込んで下さい。



⑥-1 表示と機能の一覧



外部スイッチ

- 日常使用
 - ・ オドメーター/トリップメーター/最高記録の表示切り替え。
 - ・ トリップメーター/最高記録、各表示中に3秒以上長押しでリセット。
- オドメーター表示中に3秒以上長押しでADJモードに入る。
 - ・ ADJモード内 短押し：設定値の変更 長押し：次項目に進む

関連ページ

スピードメーター	最高表示199km/h メーターケーブルの逆回転（左回り）対応。	
オドメーター	～99999km（1km単位）	
トリップメーター	～999.9km（100m単位）	
速度補正設定	速度表示の[ズレ]を補正可能。設定範囲：50～210%	⑥-2

数値式タコメーター	電気式、最高19900rpm、100rpm単位	
ステップ式タコメーター	電気式、最高15000rpm、500rpm単位	
RPM信号設定	[RPM信号接続設定][RPM信号回数設定][RPM信号回数設定] RPM信号入力に関する各種設定機能を備えています。	⑥-2

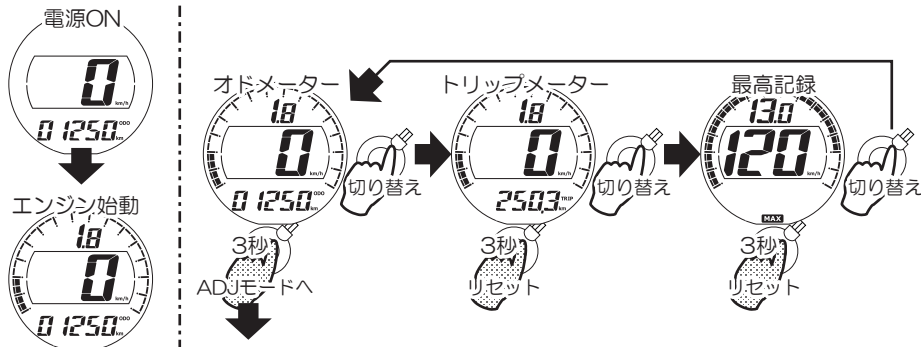
最高記録	スピードメーターとタコメーターの最高値を記録。	
燃料残量警告表示	リトルカブFの燃料残量警告灯をメーターに内蔵 LCDに警告表示します。 （リトルカブF以外の車両では使用出来ません。）	⑤-2
バックライト	ホワイトLED、5段階の明るさ調整付き。発光ムラが少なく、視認性に優れています。	⑥-2

- ・ 内蔵電池を必要としないフラッシュメモリー式で長期間、電源OFFでも各種記録を維持します。
- ・ DC12V電源、AC12V電源どちらでも作動可能。
- ・ 作動電圧範囲：DC/AC8V～16V
- ・ 純正メーターの照明用バルブ（2W）よりも電力消費量が少なくなります。
メーター本体消費電力：※約1.3W（13V100mA）※バックライト最高輝度時
バックライト輝度を1つ下げる毎に約～12.5mA。（最小値約50mA）



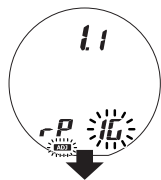
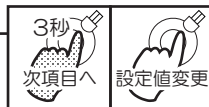
メーター起動

- キーONに伴い電源が入ります。
- 前回OFFにした時のモードで起動します。
- エンジン始動(=RPM信号入力)に伴いタコメーター表示が現れます。
- スイッチを押すと画面下部がオドメーター→トリップメーター→最高記録→オドメーター・・・に切り替わります。
- トリップメーター表示中、スイッチを3秒以上長押しして距離をリセット。
- 最高記録表示中、スイッチを3秒以上長押しして最高記録をリセット。



ADJモード

- 各種設定値の変更、調整を行うモードです。
- オドメーター表示中にスイッチを3秒以上長押ししてADJモードに入ります。
- スイッチ短押し(3秒以下)：設定値変更
- スイッチ長押し(3秒以上)：次項目に進む(長押しを続けると項目の自動送り)



1.1 RPM信号接続設定

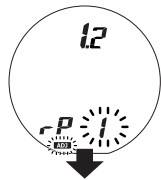
RPMコード接続先の種類

IGモード
PCモード

“IG”を選択して下さい。

IGモード：イグニッションコイルの一次側への直接接続又は、ハイテンションコードに巻き付けてのRPM信号読み込み。

PCモード：ハルスジェネレーター接続してのRPM信号読み込み。



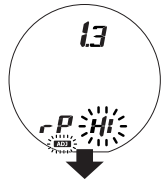
1.2 RPM信号回数設定

クランクシャフト1回転あたりの信号回数

IGモード時：0.5回、1～6回
PCモード時：1～20回

キャブレター車は“1”を選択、
インジェクション車は“0.5”を選択。

値を誤ると、タコメーターの数値が半分や2倍などになってしまいます。



1.3 RPM信号種類設定

読み込みプログラムの種類

IGモード時：Hi 又は Lo
PCモード時：Lo固定

“Hi”を選択して下さい。

[1.1]でPCモード選択時はLo固定となる為、
[1.3]設定画面に入らず[2.1]に進みます。

次ページに続く

⑥-2 操作方法

前ページの続き



2.1~2.3 速度誤差補正

補正值を入力

調整範囲：50%~210%
JIS標準値：100%

“100”を選択して下さい。



[2.1]×100%、[2.2]×10%、[2.3]×1%

- 国内車輛はJIS規格によりケーブル回転数が1400rpm時60km/h（=ケーブル1回転あたり714mm進行）と定められており、本製品はこの値を100%とし50%~210%の範囲で補正出来ます。
- ・値を増やすと表示速度が上がり、減らすと表示速度が下がります。例）タイヤが5%大きくなったら設定値は105%

補正不要	<ul style="list-style-type: none"> ●ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合 ●ホイールのインチ変更する場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用する場合
補正必要	<ul style="list-style-type: none"> ●メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合 ●外品のインチアップホイールに交換した場合やタイヤサイズを変更した場合

現在使用しているメーターギアとタイヤ周長から割り出す方法

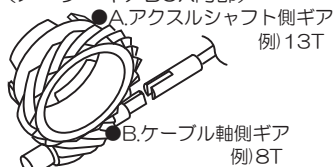
(メーターギアBOX内部)

- 1.メーターギアを分解してギア山数を数えます。
- 2.ギア山数から[C.標準タイヤ周長 (mm)]を算出します。

$$\boxed{A} \div \boxed{B} \times 714 = \boxed{C}$$

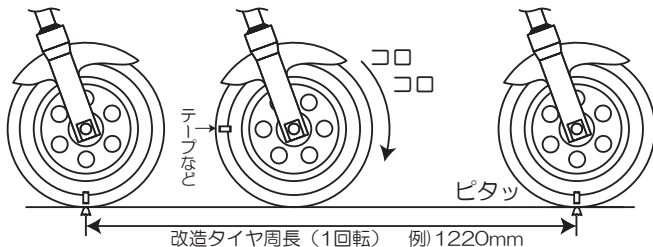
A B C
 アクスルシャフト側 ケーブル軸側 標準タイヤ周長

例) 13(T) ÷ 8(T) × 714 ≒ 1160(mm)



- ▲ 注意** ※分解時に破損の恐れがあります。十分に気を付けて作業を行って下さい。

- 3.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離[D.改造タイヤ周長]を測ります。

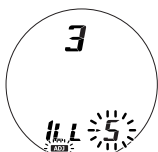


- 4.[C.標準タイヤ周長]と[D.改造タイヤ周長]から速度[補正值]を割り出します。

$$\boxed{D} \div \boxed{C} \times 100 = \boxed{\text{補正值 (\%)}}$$

D C
 改造タイヤ周長 標準タイヤ周長 補正值 (%)

例) 1220(mm) ÷ 1160(mm) × 100 ≒ 105(%)



3 バックライト設定

バックライトの輝度を調整

調整範囲：1~5
最高輝度：5

